

令和7年度 各教科年間指導評価計画

教科名 社会 学年 2年 領域名 地理・歴史

月	単元名	時間	主な評価基準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 ～ 5	【地理】日本のさまざまな地域 ・日本の地域的特色	12 12	日本の地域的特色を、自然環境や人口、資源・エネルギー、産業、交通・通信の視点から、写真、図版、地図、気温図など、さまざまな資料を適切に選択して読み取り、理解している。	日本の自然環境や人口、資源・エネルギー、産業、交通・通信などの地域的特色が、どのように変化し、どのような課題を抱えているのか、多面的・多角的に考察し、表現している。	自然災害への対応や人口減少に伴う少子高齢化など、身近な地域や生活との関わりに着目して、日本の地域的な課題について、主体的に追究しようとしている。
5 ～ 6	【歴史】近世の日本と世界 ・結びつく世界との出会い ・天下統一への歩み ・幕藩体制の確立と鎖国	13 5 3 5	ヨーロッパ人來航の背景とその影響などをもとに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報について調べてまとめ、それが日本の社会に及ぼした影響について理解している。 織田信長・豊臣秀吉による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などをもとに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を調べまとめ、近世社会の基礎がつけられたことを理解している。	統一政権の諸政策の目的などに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、中世社会から近世社会への変化の様子や、日本の政治や文化に与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現している。 統一政権の諸政策の目的などに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、江戸幕府により全国を支配するしくみがつくられ、都市や農村における生活が変化したことや、安定した社会が構築されたことなどについて多面的・多角的に考察し、表現している。	世界の動きと関連づけながら、中世から近世への過渡期にある日本について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。 江戸幕府の成立と、幕藩体制による支配の確立について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
6 ～ 7	【地理】日本のさまざまな地域 ・日本の諸地域 九州地方 ・日本の諸地域 中国・四国地方	12 6 6	九州地方の地形や気候などの自然環境に関する特徴を理解し、九州地方の自然環境を生かした産業や、防災の取り組みについて、それらの課題を理解している。 地図や資料から、中国・四国地方の交通・通信網による結びつきの変化と、それに関連する産業や生活の変化や課題について理解している。	九州地方において、特色ある人々の生活や産業が成立する背景を、自然環境や、大陸・国内との結びつき、地域の課題などと有機的に関連づけて多面的・多角的に考察し、表現している。 中国・四国地方の結びつきの変化や産業の変容について、人や物の移動の量や方向、人々の工夫や努力などと有機的に関連づけて、多面的・多角的に考察し、表現している。	九州地方について、よりよい社会の実現を視野に、自然環境と生活、産業との関わりについての課題を主体的に追究しようとしている。 中国・四国地方について、よりよい社会の実現を視野に、交通・通信網の整備に伴う産業の発展や地域の活性化に向けた努力などについて、主体的に粘り強く追究しようとしている。
9	【歴史】近世の日本と世界 ・経済の成長と幕政の改革	8 6	産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりや、社会の変動や欧米諸国の接	産業の発達と文化の担い手の変化や、社会の変化と幕府の政策の変化などに着	近世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体

	<ul style="list-style-type: none"> ・学習のまとめ 	2	<p>近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどをもとに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を調べまとめ、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたこと、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解している。</p>	<p>目して、事象を相互に関連づけるなどして、都市を中心とした経済が形成されていく中で、日本の文化の空間的な広がりが生み出され、それを背景として各地方の生活文化が生まれたことや、生産技術の向上や交通の整備と町人文化の特徴、貨幣経済が農村に広がる中で経済的な格差が生み出され、それを背景として百姓一揆が起こったことや、社会や経済の変化への対応としての諸改革の展開などについて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>近世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>的に追究しようとしている。</p>
9 ～ 11	<p>【地理】日本のさまざまな地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の諸地域 近畿地方 ・日本の諸地域 中部地方 ・日本の諸地域 関東地方 	18 6 6 6	<p>地図や資料を活用し、近畿地方の自然環境や歴史的景観の保全などの特色ある事象を読み取り、近畿地方の地域的特色を理解している。</p> <p>さまざまな資料を活用し、中部地方の三つの地域の産業の特色と変化を読み取ることができるとともに、それぞれの自然環境の特色から異なる産業が発達したことを理解している。</p> <p>関東地方の自然環境や産業の特色を、人口の集中との関わりに着目し、地図や統計、分布図などから読み取るとともに、人口の集中と都市圏の拡大に伴う課題を理解している。</p>	<p>自然環境や歴史的景観の保全に関わる取り組みを、人口の分布や住民の生活および産業の変化などと関連づけながら、原因と対策、効果の面から多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>中部地方の三つの地域において、それぞれ異なる産業が発達・変化した背景について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>関東地方に人口が集中する理由を、第3次産業の発達のほか、他地域や海外との結びつき、自然環境の特色などに着目し、多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>近畿地方について、よりよい社会の実現を視野に、自然環境や歴史的景観の保全の視点からみた人々の生活や産業の課題を、主体的に追究しようとしている。</p> <p>産業の視点からみた中部地方の特色について、自然環境の課題の克服に関する人々の工夫や努力に関心をもちながら、主体的に粘り強く追究しようとしている。</p> <p>関東地方について、よりよい社会の実現を視野に、人口の集中の視点からみた人々の生活や産業などの地域的特色を主体的に粘り強く追究している。</p>
11 ～ 12	<p>【歴史】日本の近代化と国際社会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近代世界の確立とアジア ・開国と幕府政治の終わり ・明治維新と立憲国家への歩み 	16 6 3 7	<p>欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどをもとに、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。</p> <p>開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などをもとに、明治維新によって近代国家の基礎が整えら</p>	<p>工業化の進展と政治や社会の変化などに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、欧米諸国の市場や原料供給地を求めたアジアへの進出が、日本の政治や社会に与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>明治政府の諸改革の目的や、議会政治</p>	<p>欧米諸国のアジア進出が日本の開国をもたらししたことや、開国の影響と江戸幕府の滅亡について、よりよい社会の実現を視野に主体的に追究しようとしている。</p> <p>明治維新によって近代国家の基礎が整えられ、人々の生活が大きく変化したこ</p>

			れて、人々の生活が大きく変化したことを理解している。	の展開などに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、明治政府の諸改革が政治や文化や人々の生活に与えた影響や、現代の政治とのつながりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。	とや、立憲国家が形成されたことについて、よりよい社会の実現を視野に主体的に追究しようとしている。
1 ～ 2	【地理】日本のさまざまな地域 ・日本の諸地域 東北地方 ・日本の諸地域 北海道地方	12 6 6	地図や写真などから、東北地方の自然環境や文化などの特色、産業の変化を読み取り、地域的特色や課題について理解している。 北海道地方の冷涼な気候の特色を理解し、厳しい自然環境のなかで暮らす人々の生活の工夫や、自然環境を生かして発展させてきた産業の特色を理解している。	東北地方の人々の生活や文化、産業の発達と、自然環境や交通網の広がりはどのように関わっているのか、多面的・多角的に考察している。 冷涼な自然環境の影響を受ける人々の生活や産業の特色を、他地域との結び付きや厳しい自然環境を克服するための工夫などと関連付けて多面的・多角的に考察している。	東北地方について、よりよい社会の実現を視野に、自然環境や交通網の整備の視点から地域的特色を主体的に追究している。 北海道地方について、よりよい社会の実現を視野に、冷涼な自然環境を生かした人々の生活や産業の特色や工夫に関心をもち、主体的に追究しようとしている。
2 ～ 3	【歴史】日本の近代化と国際社会 ・激動する東アジアと日清・日露戦争 ・近代の産業と文化の発展 ・学習のまとめ	10 5 3 2	日清・日露戦争、条約改正などをもとに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報について調べてまとめ、日本の国際的な地位が向上したことを理解している。 日本の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などをもとに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報について調べてまとめ、日本で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解している。	議会政治や外交の展開などに着目して、事象を相互に関連づけるなどして、日本と世界との関係について、多面的・多角的に考察し、表現している。 近代化が進んでいった時代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。	日本の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問や教育の発展について、よりよい社会の実現を視野に主体的に追究しようとしている。 近代化が進んでいった時代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。
3	【地理】地域の在り方	4	解決に向けて考察・構想したことを適切に説明するとともに、地域の実態や課題解決の取り組みについて理解している。	地域のあり方を、地域の結びつきや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこにみられる地理的な課題について多面的・多角的に考察・構想している。	地域の発展や持続可能な社会を目指すために、これからの地域のあり方について関心をもち、主体的に粘り強く追究しようとしている。
主な評価方法			定期考査、小テスト 単元のまとめ、ワークシート	定期考査、小テスト 単元のまとめ、ワークシート レポート	授業への取組、発言 宿題・課題などの提出物 単元のまとめ